

Ito Yuka

Miyake Syunichiro

Kokugan Yu



聞いてみよう
先輩たちの声
～小学校編～

CROSS TALK

岡山市立岡南小学校
ミヤケ シュンイチロウ
三宅 俊一郎さん
教諭(3年生を担任) /
教員歴5年目

岡山市立東晴小学校
イトウ ユウカ
伊藤 友香さん
栄養教諭 /
教員歴1年目

岡山市立財田小学校
コクガン ユウ
國眼 悠さん
教諭(2年生を担任) /
教員歴2年目

三宅 お二人が教員になろうと思われたきっかけをお話いただけますか。

國眼 私は小学校の教員だった父と叔母の影響が大きいですね。二人が子どもたちの成長する様子に一喜一憂したり、卒業式には手紙をもらって涙ぐんだり。大人になってからも感動する機会が多く、人を素直に「すごいなあ」と褒める事ができる教員の仕事がすごく輝いて見えたので、教員を目指すようになりました。

伊藤 私は最初、管理栄養士になりたいと考えていましたが、大学時代に参加した学校支援ボランティアで小学校に行き子どもたちと関わるうちに、この子どもたちのために自分ができることはないかと考えるようになりました。その時、栄養教諭なら学んできた食の知識を活かして子どもたちと関わる事ができる!と思ったのがきっかけですね。

三宅 私の場合は、大学時代に経験した小学校の学童保育のアルバイトが、小学校教員を目指すきっかけになりました。学童保育での最終日、今日でみんなとはお別れなんだと思うと急に寂しくなり、思わず泣いてしまったんです。そうしたら子どもたちが「先生がんばれ!がんばれ!」と励ましてくれて、その純粋さに胸を打たれて、その時に小学校教員になろうと決めました。

お二人にお聞きしたいのですが、実際に教員にな

られてみていかがでしたか?

國眼 そうですね、教員として自分が教える立場になって、子どもと接する授業以外に準備作業が多いうちにまず驚きました。自分が小学校の頃に受けていた授業が、いかに大変な手間がかかっていたのかがわかり、恩師へ改めて感謝の思いがいになりました。そして、この仕事はやればやるほど発見や驚きもあり、期待以上だと私は思っています。

伊藤 栄養教諭はクラスを受け持たないので、どれだけ子どもたちと仲良くなれるか最初はとても不安だったんです。だから、積極的に清掃時間やクラブ活動など子どもたちと関わるところへ行き、自分から声をかけて子どもたちと関係が作れるように心がけました。すると、段々打ち解けてきて、校内ですれ違ったときに「あ、先生だ!」と子どもたちが言ってくれるようになり、うれしいと同時に、コミュニケーションをとることはすごく大事だと改めて感じました。相手がいる仕事なので、毎日の変化が今、とてもおもしろいと感じています。

三宅 準備や心がけていることについて、もう少し詳しく聞かせてください。

國眼 そうですね、私ははじめの頃、授業中に子どもたちから、「先生それはどういう意味?」、「よくわからない!」と言われてしまうことがあったんで

す。これではだめだと反省して、そこから授業の準備にじっくり時間をかけ、さらに教え方にもアレンジを加えるようにしました。例えば算数の授業なら、子どもが私に代わって黒板の前に立ち、クラスみんなに解説するような流れにしてみました。そのうち人に教えることで子どもたちの理解力が増し、ほかの子どもたちも興味津々に聞いてくれるようになり、教室内の集中力も上がっていきました。子どもたちからの声も次第に「わかった!できた!」と変化していきました。悔しかった気持ちをバネに頑張った甲斐がありました。

伊藤 私の場合、給食の定番である牛乳の苦手な児童が多いことが悩みの種の一つでした。そこでカルシウムの大切さに気づいたり、牛乳を楽しく飲んでもらえるようにオリジナルキャラクターをつくって指導しました。牛乳嫌いだった子どもが「先生のおかげで牛乳が飲めるようになった!」と言ってくれたり、クラス全体の飲み残し量はずいぶん減ったりするなど結果が目に見えるようになり、とても嬉しかったです。私からも三宅先生にお聞きしたいのですが、教員になられてから今日まで、苦労されたことはありましたか?

三宅 そうですね。実は1年目のとき学級経営にすごく悩んでいた時期があり、周りの先生方に相談をしてアドバイスをいただいたりしました。1年目の



児童の「わかった!」の声に感動 (國眼さん)

教員も悩んだ分だけ成長できる (三宅さん)

食を通して地元を好きになって欲しい (伊藤さん)

岡南小学校 ビオトープ前

悩んだり喜んだり。子どもと一緒に成長中。

私の指導役で付いてくださっていた先生からは「授業で子どもたちとの関わりを作っていくしかないよ」と教えていただいたので、とにかく毎日必死で授業づくりをしていきました。その甲斐あってか学年の終業式の日に、子どもたちから「ありがとう」ってサプライズをしてもらえました。自分が必死で子どもたちのためにとやってきたことは間違いではなかったんだと実感しました。実はこの話、続きがあるんです。月日が経って私も転動することになり、当時の学校を去る最終日、私が転動することを知ったあの子たちが来てくれたんです。もう中学生になっていたんですが、「先生、今までありがとう」とわざわざ小学校にまで言いに来てくれて。あの時は本当にうれしかったです。自分の必死な姿、想いが授業を通して子どもたちに届いてたんだと。これからも頑張ろうと改めて思いました。子どもたちとの真剣な関わりというのは、心のどこかに刺さってくれるのかなと信じて今も向き合っています。子どもたちの心を育てることのできる素晴らしい仕事です。

國眼 素敵な話ですね! 自分もそんな経験がしてみたいです!

三宅 ありがとうございます。お二人もこれからいっぱい経験されると思いますよ。それでは最後にお尋ねです。どんな教員を目指したいですか?

伊藤 私は、例えば地元の農家さんを招いて授業を行うなど食育に力を入れて、児童たちに食の魅力や重要さを感じてもらえる教員になりたいです。そして私が伝える食の知識を実際に取り入れて、よい食生活や健康な身体作りに役立ててもらえれば嬉しいですね。

國眼 子どもたちが何か困った時に、國眼先生に相談しよう!と、最初に思い出してもらえるような、頼りになる教員を目指しています。そして経験を積んでいくにしたがって、学校運営に関わる仕事も安心して任せてもらえるよう成長していきたいです。

三宅 自身が目指すビジョンを明確にお持ちなのは素晴らしいことであり、大切なことだと思います。

今後のお二人の成長が楽しみです。今日のこの時間は、私にとってよい刺激になり、改めてこの仕事の魅力に気づくことができました。またいつでも相談してください。本日はありがとうございました。

教員を目指す方へのメッセージ

伊藤 大変なこともあります。やりがいや喜びがそれを上回る仕事です。

國眼 毎学期、毎年、新しい気持ちで取り組めること、そしてなにより子どもたちから感動をもらえる、やりがいの大きい仕事です。

三宅 学生の時にいろんな経験をしておく、子ども達とのコミュニケーションに役立ちますよ。

WE LOVE OKAYAMA CITY!
わたしのおすすめ
岡山市のいいところ

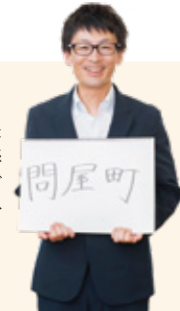
岡山後楽園

日本三名園の一つ。春は桜がキレイで、芝生に座ってお花見ができます。あと期間限定の「幻想庭園」のライトアップも見ものです。(國眼さん)



問屋町

古いビルや倉庫を改装したカフェや古着屋さんなど、感度の高いお店が集まる街です。休日の買い物やデトックススポットとしても人気です。(三宅さん)



西大寺の五福通り

古い町並みが残っていて、ゆったりとした時間が流れています。おしゃれなカフェやランチスポットもありお気に入りの散歩コースです。(伊藤さん)

